

児童デイサービスすきっぷ神楽

2020年1月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係性で適切であるか	100%	0	0		定員10名に対し十分なスペースが確保されている。整理整頓をし安心して過ごせるスペースを維持していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0	0		配置基準が満たされている。
	3	事業所の設備等において、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	84%	0	16%	・現状の利用児には必要性を感じない。	安易なバリアフリー化は、できる・やれる子どものスキルを低下させてしまう恐れもあるので、必要性を感じた場合はその都度協議を行っていく。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0	0	・施設内研修や朝・昼会等、職員間でミーティングを行っている。 ・施設内研修やミーティング等で職員間での話し合いの場を増やし、業務改善に繋がっている。	毎日のミーティングや施設内研修を通してスタッフとの意見交換を実施している。全スタッフが必ず発言するようルールを設け進行している。より精度を高めていく。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0	0	・評価表の結果を踏まえて意向を把握し、改善に繋がっている。	保護者向け評価表の対応策にスタッフ全員目を通してもらうことで、業務改善を意識付けした上で話し合う機会を設けていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%	0	0		今年度は、玄関の掲示と保護者への配布に加え、ホームページでの公表も検討している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33%	0	67%	・第三者による外部評価は行っていない。	重要事項説明書にも記載しているが、第三者による外部評価は行っていない。法人の方針に従い対応していく。検討していく。ただし、保護者に対してはアンケート調査を実施して意見をもらい、業務改善へ繋がっている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0	0	・社内での研修を行い、資質向上に努めている。	今後も施設内研修を実施し人財育成に取り組んでいく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービス計画を作成しているか	100%	0	0	・日々の様子から検証し、計画に反映されている。	保護者のニーズや子どもの課題を考慮して作成している。またモニタリング会議にてスタッフ全体で子どもに対して、どのような支援が必要か模索し、提案していく。

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0	0		法人共通の物を使用している。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0	0		ミーティングを行い、全体で話し合う機会を設けている。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0	0		体育館使用日等一部固定の物もあるが、極力曜日固定を行わないことで、利用児が様々な活動に参加できるよう配慮している。今後も固定化しないよう活動内容を模索していく。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0	0		長期休暇には、時間をかけた製作活動を取り入れたり、土曜日には行くことのできない場所への外出を行う等工夫している。今後も取り入れていく。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0	0	・基本的に個別活動は行っていないが、個別の配慮は行っている。	子どもに合わせ、集団活動の中での個別対応を適宜組み合わせで計画を作成している。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0	0		朝会と昼会にて打ち合わせを行い、当日の支援内容や役割分担について確認を行っている。今後も継続して行っていく。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	84%	16%	0	・翌日の朝会で行っている。	当日は送迎や業務終了時刻が異なる為、綿密な打ち合わせは厳しい場合が多いが、気付いた点等は、その日のうちに施設長に報告を行い、翌日の朝会にて取り上げ共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	84%	16%	0	・個人のスキルの問題で足りない点もある。	業務日誌、ケース記録を作成し、記録を残している。また、いつでも目を通せるよう保管し支援の検証・改善につなげている。支援の検証・改善につなげていけるよう、更に精度を上げていく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0	0	・毎月会議を開催している。	子ども1人に対し、半年毎にスタッフ全員でモニタリングを行い、計画見直しの必要性を判断している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%	0	0		適宜組み合わせで行っている。定期的にガイドラインを確認する。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0	0		担当者会議に参画する場合は必ず事前にミーティングを行い、その子どもの状況を確認した上で、児童発達管理責任者もしくは施設長が参画している。

関係機関や保護者との連携

21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0	0	・保護者の同意を頂けた場合には情報共有を行っている。	送迎時に学校での様子を引き継ぎ、必要に応じて電話や面談等を通し共通理解ができるよう努めている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	50%	0	50%		医療的ケアが必要な子どもを受け入れていないため該当しない。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0	0	・保護者からの依頼があれば必要に応じ行っていく。	保護者からの依頼や同意を頂けた場合は対応していく。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0	0		今年度は1名の利用児が該当し、相談員との会議の場を設けている。今後も保護者の意向に沿って対応していく。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0	0		必要に応じて連携を取り助言や研修を受けていく。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%	0	0		スキー級別テスト、Tボールの練習試合やちびっこ甲子園、札幌ドーム北の甲子園大会出場や外出支援等において、の活動の機会を設けている。今後も機会を設けていく。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	50%	0	50%		要請や必要性を感じた場合は参加を検討していく。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0	0	・送迎時の引継ぎや面談、電話対応、連絡ノートでの個人的なやり取りの中でできる限りのことは行っている。	今後も情報交換を行い共通理解に努めていく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%	0	0	・送迎時の引継ぎや面談、電話対応、連絡ノートでの個人的なやり取りの中でできる限りのことは行っている。	安易な対応やアドバイスはトラブルにつながる為、児発管や施設長が必要に応じ個別で行っている。今後、専門的機関を含めた集団でのペアレント・トレーニングも視野に入れていく。
30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0	0		契約時において、施設パンフレット・相談受付・アセスメントシートに基づき、利用にあたっての説明を行っている。今後も必要に応じて、面談時や通信・書面などで分かりやすく発信していく。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0	0		保護者様からご相談を受けた際は、安易に言葉を返さない様、丁寧な対応を心掛けている。また、必要に応じて助言を行い、保護者に寄り添い、気持ちの受け入れ先になれる様努めている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連	100%	0	0		野球紅白戦や練習試合を公開していることで保護者同士のかわりが生まれるよう配慮している。親子参加型のバーベキューの開催や懇談会等を企画している。今後も保護者同

保護者への説明責等	32	守と関係する守にのみ、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0	0		している。親子参加型のイベントの開催や保護者同士の交流を生かす企画している。今後の保護者同士の交流が生まれるよう企画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0	0		苦情処理委員会を設置している。苦情が発生した場合は「苦情解決処理体制及び手順」に基づき、迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0	0		毎月通信及び号外等を必要に応じて発行し、すきっぷでの様子を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0	0		「個人情報利用の目的」に従い、取り扱いには細心の注意をしている。不要なデータや使用済みの書類などは施設内でシュレッダーにかける等の処理を行うとともに、職員規定により施設外にデータを持ち出すことも禁じている。今後もより一層セキュリティー強化に努めていく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0	0		子どもたちに対しては日々模索しながらも意思の疎通に努めている。保護者に対しては送迎の際できるだけ施設での活動内容や子供の様子など伝え、特に重要な詳細については必要に応じて、連絡ノートや自宅訪問・電話連絡等を行っている。今まで以上に関係構築に努めていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	68%	16%	16%	・利用児のプライバシー保護の為に難しい。 ・活動のなかで地域交流を図れるような機会を作っていく。	不特定の住民を招待するということに関しては利用児へのプライバシーの配慮という点で難しく、昨今の凶悪犯罪の面においてセキュリティー上の問題から好ましくないが、クッキングコンテストの審査員として招待したり、町内のゴミ拾いなどの地域貢献活動を行っている。また、年に1度作品展を開催し地域住民の方へすきっぷへの様子を知らせている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0	0		緊急時対応マニュアルは毎年4月に配布。今後も変更等が出た場合などは迅速に情報公開していく。職員に対しては研修を重ねている。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0	0		年に3回行っている。(火災2月・地震6月・水害10月)それに加え、今年度は不審者への対応やスタッフが倒れた際の対応訓練も行った。今後も継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0	0		定期的に虐待防止・身体拘束廃止研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0	0		必要に応じて契約時や面談時等に口頭にて説明している。また、特記事項にも記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0	0	・フェイスシートにて保護者へ聞き取り	契約時にアレルギーの有無を確認すると共に、アレルギー反応が出やすい食材を扱う場合には当日利用する全利用者者に確認をとるなどして対応している。
		アレルギー対応事例集を作成し、事業所内					

	43	レビューボード事例案を1F成しし事例が内で共有しているか	100%	0	0		今後も共有し、同じ失敗を繰り返さないよう努めていく。
--	----	------------------------------	------	---	---	--	----------------------------